

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度決算額	当該年度決算額	比較	点検評価のコメント	今後の方向性	その他特記事項
1	本庁 生涯学習課 学校教育グループ	1790-00	教育委員会活動 運営事務	教育行政の円滑な運営と教育委員としての研鑽を図る	1,833	1,762	△ 71	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に定める職務について、同法第26条及びむかわ町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の規定に基づき、定例会を12回、臨時会を2回開催し、議案等136件を審議した。また、町立学校7校を訪問し、各学校の特色ある教育活動の取り組みや課題等について意見交換を実施した。 今後、よりよい教育環境の提供や、今日的な教育課題の解決に向けて、教育委員として更に研修を深めていく必要がある。	B維持	
2	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1810-00	就学指導事務	心身に障害があり、教育上特別な取扱いを要する児童生徒に対し、適正な就学指導を行うための就学指導委員会の設置及び活動	10	12	2	特別支援教育の充実及び本町の児童生徒の適正な就学に向けて、引き続き細かな取り組みを続けていく必要がある。	B維持	
3	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1830-00	教職員福利厚生事務	職員の健康保持のため学校保健の充実を図る	903	858	△ 45	学校保健安全法第15条の定めにより教職員の定期健康診断、血液検査、人間ドックを実施。 教育課程以外の活動（PTA活動、学級活動、部活など課外活動）における事故等の補償をし、教職員の負担軽減に努めている。	B維持	
4	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1840-00	高等学校振興対策事業	鶴川高等学校並びに穂別高等学校の存続対策及び体育・文化活動の振興	13,285	15,378	2,093	鶴川高校部活動等の支援や通学バスの運行、穂別高校の学校案内（札幌及びその近郊の中学校への訪問）は、高校存続問題にも有効なものとなっている。 今後も両高等学校の生徒の確保、存続を図るため必要な事業である。	A拡大	
5	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1850-00	魅力ある教育推進事業	学ぶ意欲を高める魅力ある学校づくりを推進する	3,360	2,588	△ 772	鶴川中学校と鶴川高等学校との連携型中高一貫教育は、生徒の興味関心などに応じた多様な学習形態が定着し、特色ある教育活動が展開されている。今後はキャリア学習とボランティア活動を掲げ、未来を担う人材を育成するため一層の進捗と教育内容の充実に向けた取組を行うため支援が求められる。 鶴川中学校はスクールカウンセラー（道費負担）、穂別中学校は心の相談員を配置している。児童生徒をとりまく環境等の変化から今後も引き続き継続する必要がある。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
6	総合支所 教育振興課	1855-00	山村留学支援事業	富内小学校への山村留学生を迎え入れるため、必要な支援を行う	600	453	△ 147	富内小学校の存続、地域の活性化の両面から引き続き留学児童の受け入れが出来たことは評価される。 更に、学校(複式学級、特別支援)、地域(行事への参加)、教育委員会(住宅の確保、募集方法)などの受け入れ体制の充実及び年度途中の受け入れる体制が必要である。	B維持	
7	本庁 生涯学習課 学校教育グループ	1856-00	鈴木章記念事業	ノーベル化学賞を受賞した鈴木章特別名誉町民の功績を記念し、町内の児童及び生徒の学習意欲を増進する事業を推進する	3,368	3,089	△ 279	鈴木章先生の功績を記念して実施した事業である。特に中高生海外派遣事業は、予算の範囲内で多くの中高生が参加できるよう基金の充実が必要である。大学等進学奨励事業は、町内の高等学校に在籍するむかわ町民の子弟に対して、勉学の助として奨学金を給付し有用な人材を育成するため必要な事業である。	B維持	
8	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1860-00	児童生徒保健対策等事務	就学前児童及び児童生徒の健康保持のため学校保健の充実を図る	1,340	1,492	152	学校保健安全法の定めにより、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、健康診断を定期的実施するとともに、感染症の予防や感染症による学級閉鎖への助言をなど、学校教育の円滑な実施を図っている。また、就学前の児童の健康診断を行い、結果に基づき、必要に応じて保護者に治療を勧告するなど就学に備えている。 学校環境衛生検査は、学校環境衛生の基準に基づき換気、保湿、採光、照明、騒音等の学校環境の検査を行い、児童生徒等の健康増進を図っている。定期的実施していく必要がある。	B維持	
9	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1880-00	教職員住宅等維持管理事務	むかわ町立学校に勤務する教職員の住宅の維持管理	6,231	8,997	2,766	児童生徒数の減少により教職員の定数も減少しており空き住宅が増えてきているため、可能なものについては普通財産に所管換えし、有効活用を図ることが望ましいと考える。 今後も適切な維持管理に努める必要がある。	B維持	
10	本庁 生涯学習課 学校教育グループ	1900-00	教職員住宅建設割賦償還金	教職員住宅の整備に係る償還金及び負担金	16,123	11,144	△ 4,979	教職員を確保し、またその能力を発揮する上で住環境の整備は必要なことから、計画的な教職員住宅の整備を進める必要がある。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
11	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ	1901-00	避難所指定校安全対策事業	災害時対応の拠点施設となることから、各学校体育館に自家発電設備を行い、防災機能の強化を図る。	0	36,791	36,791	防災機能強化を図る整備については、地域の避難所にも指定されています各小中学校の体育館に、停電時対応として自家発電設備を整備することができた。	B維持	
12	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1910-00	教育団体活動等事業助成事業	就学前教育の奨励、教育活動を補完する団体への活動を支援し、教職員の資質の向上と教育環境整備を図る	12,236	11,071	△ 1,165	町内唯一の幼稚園は、入園する園児数が減少し、経営健全化に向けた取り組みが求められている。幼児教育の一翼を担っている私立幼稚園の運営に対して支援は必要である。学校教育では、教員の指導力や人間性が子どもに与える影響は極めて大きいことから、引き続き町教育振興会などへの支援を行い、研修意欲と実践の力量の向上を図る必要がある。	B維持	H23より認定子ども園へ
13	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1920-00	英語指導助手配置事業	小・中学校における英語活動並びに国際理解教育の充実を図るため、小・中学校へ外国語(英語)指導助手を派遣する	10,134	9,603	△ 531	国際化の一層の進展が予想され、英語によるコミュニケーション能力や国際理解の基礎を児童生徒に身に付けさせることは重要な課題であり、小学校における英語を中心とした外国語活動が22年度から始まり、本事業はますます必要である。	B維持	
14	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1930-01	通学バス運行事業	町内統合校などの児童生徒の通学負担を軽減するため通学バスを運行するとともに、学校行事等を円滑に行うため多目的バスを運行する	34,567	41,491	6,924	学校の統廃合により、または従来から遠隔地からの通学者が多いため、通学バスは必要であるが、児童生徒数の推移により路線等の見直しは随時必要である。校外学習等に要する貸し切りバスや多目的バスの運行は教育課程の一環であることから、実施に当たっての工夫は必要であるものの今後とも不可欠の事業である。	B維持	
15	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1950-00	小学校運営事務	小学校運営全般に係る諸経費、教育環境の整備	43,816	50,605	6,789	学校現場の実情に合わせて迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会で直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。特別支援教育を必要とする児童が増えつつあり、特別支援教育の充実のため、学習支援員や介助員の配置を行い、教育内容の充実に努める必要がある。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
16	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1960-00	小学校施設管理 事務	学校施設、設備の維持 管理を行い、教育環境 の維持及び義務教育の 円滑な運営と児童の安 全性の確保を図る	24,769	27,742	2,973	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、より効率的・効果的な改善が必要である。 学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	
17	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1970-00	小学校施設整備 事業	学校施設、設備の整備 を行い、教育環境の改 善及び義務教育の円滑 な運営と児童の安全性 の確保を図る	4,053	3,336	△ 717	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、緊急性や必要性を検討し、計画的な整備・改修を推進していく必要がある。 コピー機、印刷機はリース契約期間が満了となっても、できるだけ使用し、経費の節減を図っている。	A拡大	
18	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1980-00	小学校保健・安全 対策事務	児童の安全確保と、健 康の保持増進を図り、学 校教育の円滑な実施を 図る	3,048	2,634	△ 414	児童の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、新入学児童の防犯ブザー携帯は有効である。 学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	
19	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	1990-00	小学校就学援助 事業	経済的理由によって就 学困難な児童の保護者 及び特別支援学級に就 学する児童の保護者に 対して学用品等を援助 することにより、義務教 育の円滑な実施を図る	1,556	1,546	△ 10	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資することができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
20	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2000-00	小学校教材備 品等整備事業	小学校教材備品等を 整備し、義務教育の円 滑な実施を図る	4,102	6,723	2,621	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は新学習指導要領に基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠であり重点整備に努めた。 今後も、各学校で必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要がある。 今年度は、国庫補助により理科教材備品の整備を行った。	A拡大	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
21	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2010-00	小学校情報教育 推進事業	高度情報化社会の進展に対応する人材を育成するため、児童に対する情報教育の充実を図るとともに、教職員用コンピュータを整備することにより学校事務の効率化を図る	2,550	3,430	880	児童に対する情報教育の充実並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠な設備整備である。 今後、年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していく必要がある。	A拡大	
22	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2015-00	小学校建設事業	学校施設・設備整備等により、教育環境の改善及び義務教育の円滑な運営と生徒の安全性の確保を図る。また、子どもたちに「食の正しい知識と望ましい食習慣」を身に付けさせることを目的に学校給食の早期実施を図る。	0	24,626	24,626	学校教育において校舎をはじめ施設整備の果たす役割は、教育効果を左右する重要な要件となっている。 老朽化が著しい鶴川中央小学校及び新設の学校給食施設は、鶴川中央小学校校舎改築検討委員会において改築内容等に係る意見交換を行いながら設計に取り組んでいる。	A拡大	
23	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2020-00	中学校運営事務	中学校運営全般に係る諸経費、教育環境の整備	18,117	20,033	1,916	学校現場の実情に合わせ迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会で直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。	B維持	
24	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2030-00	中学校施設管理 事務	学校施設、設備の維持管理を行い、教育環境の維持及び義務教育の円滑な運営と生徒の安全性の確保を図る	8,451	6,295	△ 2,156	学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	
25	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2040-00	中学校施設整備 事業	学校施設、設備の整備を行い、教育環境の改善及び義務教育の円滑な運営と生徒の安全性の確保を図る	2,513	2,542	29	コピー機・印刷機は、リース契約期間が満了となっても、できるだけ継続して使用し、経費の節減を図っている。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
26	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2060-00	中学校保健・安全 対策事務	生徒の安全確保と、健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る	1,500	1,442	△ 58	生徒の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、女子生徒の防犯ブザー携帯は有効である。 学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	
27	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2070-00	中学校教材備品 等整備事業	中学校教材備品等を整備し、義務教育の円滑な実施を図る	3,499	4,726	1,227	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は新学習指導要領に基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠であり、重点整備に努めた。 今後も、各学校で必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要がある。	A拡大	
28	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2080-00	中学校就学援助 事業	経済的理由によって就学困難な生徒の保護者、特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る	2,298	2,202	△ 96	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資することができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
29	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興課	2090-00	中学校情報教育 推進事業	高度情報化社会の進展に対応する人材を育成するため、生徒に対する情報教育の充実を図るとともに、教職員用コンピュータを整備することにより学校事務の効率化を図る	5,063	1,438	△ 3,625	生徒に対する情報教育の充実、並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠な設備整備である。 今後、年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していくことが必要である。	B維持	
30	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2120-00	社会教育委員活 動運営事務	教育委員会が行う社会教育計画の立案や社会教育事業に関し助言するための社会教育委員の活動経費	371	636	265	社会教育委員の役割は、住民ニーズの多様化する中で行革効果を求められる厳しい時代にあつて、進むべき各種方策の方向性を定めていく役割があり、合併時に策定された教育目標に基づく社会教育振興計画の策定を行うなど成果を示している。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
31	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 教育振興課	2130-00	社会教育推進事 務	社会教育行政を推進 するための一般事務経 費	807	563	△ 244	社会教育事業等を推進するため、各種研修機会への派遣や事業打ち合わせ・情報交換を 行うために職員を派遣している。	B維持	
32	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 教育振興課	2140-00	社会教育団体等 活動費助成事業	社会教育関係団体に 財政支援を行い、活発な 活動を促す	3,147	3,172	25	社会教育団体の自主的活動を支援することで、文化・レク活動が有意に展開されてきてい る。合併後各団体が統合してきたが、順調な運営をするために今後も支援が必要である。 「行革削減目標(H18～22年度)により、30%の削減が行われたが、今後の各種活動には 創意工夫が必要である。	B維持	
33	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 教育振興課	2150-00	生涯学習基金活 用事業	文化、スポーツ及び社 会活動など生涯学習意 欲に応える費用に充てる ために設置された「むか わ町生涯学習推進基 金」の有効な活用を図る	2,455	3,256	801	町民が日常の活動成果として、地域を代表して各種大会に出場する場合に派遣事業として かかる経費(交通費、宿泊料等)の負担軽減を図ることにより、町外での活躍の場を確保し、 練習成果の発揮とより高度なレベルの体験、交流が促進され、競技や文化のスキル・精神力 アップに有効である。 その他各種研修、人材養成、交流の場へ派遣することにより、幅広い視野で活躍できる人 材を養成することとなり、まちづくりの推進に顕著な効果が期待される。 本町で開催する事業等に助成することにより、普段なかなか触れる機会の少ない、文化・ス ポーツ事業を身近に鑑賞できる機会の確保につながり、地域全体の文化レベルの向上につ ながる展開が期待できる。	B維持	
34	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 教育振興課	2170-00	公民館活動一般 事務	生涯学習推進アドバ イザーを置き、生涯学習の 推進を図る いじめ等の相談活動に より児童生徒の健全育 成を図る	4,875	6,345	1,470	教育一般に関し、豊かな識見を有し、且つ、生涯学習に関する指導技術を必要とする事務 事業であり、生涯学習アドバイザーの配置を行っている。 特に子どもに関する事業(わんぱく、放課後子ども教室、学校地域支援)、高齢者への指導 事業などで、各種企画進行(コーディネート)する役割を持っている。	B維持	
35	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 教育振興課	2180-00	公民館事業	生涯各期の課題に即し た生涯学習の機会の提 供を行うとともに、学習成 果の還元を推進する。ま た、子どもたちの体験活 動等を行い健全な育成 を図る	1,599	2,288	689	公民館事業について、事業の実施毎に評価(①前回の実施に対する課題の整理 ②住民 のニーズ点検 ③今後の動向を踏まえての必要性)を実施している。これらを分析して、事業 の優先度を位置づけし、今後の方向を検討している。 広範多岐にわたるため事業の数が多く、組合せなど工夫も必要。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
36	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 穂別図書館	2200-01 2200-02	図書館等管理運 営事務	町民の教育と文化の向 上を図るため設置されて いる図書館(図書室)の 管理運営	7,186	5,737	△ 1,449	図書館は、町民への情報提供手段として重要な役割を果たしてきてる。今後さらなる町民の 学習要求に応えるため、蔵書の拡大と移動図書館の整備などが必要である。合併によりサー ビス対象人口が拡大したこともあり、図書館の情報提供機能を強化し、町民の学習活動への 支援と、地域の活性化に向けたサービスの展開が求められる。	A拡大	
37	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ	2210-00	生涯学習セン ター管理運営事 務	町民の学習機会の充 実と文化及びスポーツ活 動の場の提供並びに 町外の住民との交流の 場として設置されている 生涯学習センター(報徳 館)の管理運営	1,514	1,921	407	文化・スポーツ関係の合宿施設として利用されている。平時は無人であるが、管理・清掃を 委託している。合宿誘致に向けた施設整備について、どこまで進めるべきか課題となっている。	B維持	
38	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 01に統合	2220-00	文化財等保護事 業	町の重要な文化財等 の保存及び活用のため 必要な措置を講じ、町民 文化の継承と向上を図る	706	5,878	5,172	適正な文化財保護・保存に努めている。今後は、郷土資料展示、埋蔵文化財の調整に向 けた専門担当者の確保及び文化財と一般町民とのふれあいの機会・場の創出が課題。	A拡大	
39	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ	2230-00	学習交流セン ター管理運営事 務	学習機会の拡充と生活 文化の向上を目的とし て広く地域住民の文化活 動の促進に寄与するた め設置した学習交流セ ンター「まなぶ館」の維持 管理を行う	8,593	1,298	△ 7,295	学習機会の拡充や生活文化の向上に寄与することができた。 施設の改修とバリアフリー化し、より多くの方に利用頂ける施設とした。	B維持	
40	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 教育振興課	2240-00	青少年健全育成 等推進事業	次代を担う青少年の健 全育成、指導、保護を行 うため、家庭・学校・地域 社会や関係機関との連 携強化に努めながら各 種事業を進める	973	1,957	984	青年団活動については、公民館事業「ゆめ育事業」の自主的な活動をするほか、会員相互 の交流や地域での活動を行っており、「まちづくり」を担う次代の育成の面での期待が大き い。 成人式の開催日については、H24年より両地区合同開催とした。 少年の主張大会については、主催(教育委員会)実施主体(運営委員会)と役割分担する 中で実施している。 読書感想文コンクールについては、青少年健全育成委員会が主体となり実施し、表彰式で は各学年の最優秀賞の児童、生徒は読書感想文を朗読した。 青少年健全育成委員会は3回開催し、青少年教育についての有効な方策などについて議 論・提言頂いている。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度決算額	当該年度決算額	比較	点検評価のコメント	今後の方向性	その他特記事項
41	本庁 生涯学習課 社会教育グループ	2250-00	鶴川高等学校生徒寮管理運営事業	鶴川高等学校に在籍する生徒及びスポーツ等で合宿する青少年等に寄宿の便を与え、もって学力の向上、健康の保持増進及び青少年の健全な育成に寄与するために設置した生徒寮の管理運営	13,333	14,174	841	寮生は全員野球部に所属しており、鶴川高等学校の存続及び硬式野球部の活躍に大きく寄与しており、これまで3回甲子園に出場するなど町の自慢として事業の継続が必要である。	B維持	
42	総合支所 教育振興課	2260-00	穂星寮管理運営事務	就学のために来町する青少年に寄宿の便を与え、もって学力の向上、健康の増進及び子弟の育成に寄与するため設置された穂星寮の管理運営	30,868	28,703	△ 2,165	寮生は、親元から離れ環境を変え現管理体制の中で有意義な寮生活を送っており、穂星寮の存続にも寄与している。今後もこの事業の継続が必要である。	B維持	
43	本庁 生涯学習課 社会教育グループ	2265-00	青少年健全育成施設整備事業	鶴川高等学校生徒寮の改善及び管理運営と生徒の安全性の確保を図る。	0	2,048	2,048	平成24年度実施した耐震診断により、耐震改修工事が必要となったため、耐震改修実施設計を行った。次年度以降工事に着手する。	B維持	
44	本庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興課	970-01 970-02	児童館管理運営事務	放課後児童に適切な遊び、及び生活の場を与え、健全な育成を図る	20,095	20,152	57	核家族化、共稼ぎ世帯の増加により、放課後児童の健全育成についてニーズは高まる一方である。 また、特別支援学級児童及びこれに準ずる児童数も増加傾向にあり、保護者としてはできるだけ多くの児童の中で成長させたいという意向が強まってきており、きめ細かな連絡体制を必要とするなど、運営の困難さは増している。 鶴川地区は施設の老朽化のため、児童館の改築が求められており、穂星地区では狭隘化のため、今後適正な規模で事業運営ができるよう環境整備が必要となってくる。 また、小規模校での対策も求められており、今後の検討課題となっている。	A拡大	中央小学校改築時の児童館整備について検討中。
45	本庁 生涯学習課 社会教育グループ	2266-00	放課後子どもセンター整備事業	ひかり児童クラブの老朽化及び空き教室を利用している中央小児童クラブを適正規模で運営するため施設整備を行う。	0	9,450	9,450	ひかり児童クラブ及び中央小児童クラブを適正規模での運営と、放課後の居場所づくりと体験型プログラムや学習機会の提供を行う放課後子ども教室の一体的実施に向け、鶴川中央小学校敷地内に施設整備を行うため実施設計業務を実施した。平成26年度に施設整備を行う。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
46	総合支所 穂別博物館	2270-00	博物館管理運営 事務	自然及び人文に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、町民の教養、文化の向上に寄与する	15,541	26,447	10,906	本年も当館の活動の中心である自然史系資料(化石・地質)を重点的に収集保存した。穂別産恐竜化石の現地調査を実施し、発掘調査の準備を進めた。 モササウルス新規標本は産出部位のレプリカを作成。穂別産長頸竜(クビナガリュウ)化石の更なる調査とクリーニング作業が進められた。稲里化石の発掘に向けた取組みが必要である。 化石採集会や化石体験コーナーを実施し、化石に関する知識の普及や当館の宣伝に努めた。 町内学校による利用は一定数あり、当町の特色である化石の学習に協力できた。 広報誌ホッピーだよりを毎月発行し、町内の公共機関や学校等に配布、町のホームページや町民ポータルサイトPOMUの情報も随時更新するなど様々な方法で積極的に情報の発信を図ってきた。	A拡大	
47	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2290-00	スポーツ推進委員活動運営事務	スポーツ・レクリエーションの普及及び振興	1,236	771	△ 465	子どもの体力向上や高齢化における、健康社会の実現に向けて、「体育指導員」の役割は、一層重要になる。 総合型地域スポーツクラブへの継続支援と地域の拡大(育成)、生涯スポーツのメニュー作成、関係機関・団体等との連携など多岐にわたり任務と力量が必要とされる。そのため積極的に研修会等に参加し指導者としての豊富な知識を得ることが重要と考える。 スポーツ振興法からスポーツ基本法への50年ぶりの法改正が行われ、H24からスポーツ推進委員に衣替えが行われ、心機一転、新たな展開が期待されている。	B維持	
48	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興課	2300-00	町民体力づくり事業	町民の健康や体力の増進を基本としたスポーツの普及啓発などスポーツの振興を図る	469	323	△ 146	各種事業の実施により、町民がスポーツに親しむ機会を提供し、体力の向上に効果をあげている。 また、小学校のスピードスケート教室については、正しい知識と技術を教示することから、講師の派遣は必要であり、例年要望も多いことから継続している。	B維持	
49	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2310-00	スポーツ団体等活動費助成事業	スポーツ団体等の支援をすることにより、町民の交流と連帯を養い且つ、スポーツへの参加意欲を高め、心身の健全な発展と明るく豊かな地域づくりに資する	1,989	3,984	1,995	社会体育関係団体に補助金等を交付することにより、団体の財政面を支援し、町民主体によるスポーツ活動の奨励を行った。各団体において更に多くの事業を展開してもらうように助言や支援を行う必要がある。 「スポーツ振興事業」「ビーチバレー大会」等は町が委託(支援)する事業として、主体的に(自立)実施するまでにはやや暫く支援が必要と思われる。	B維持	
50	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興課	2320-00	学校開放事業	コミュニティ・スポーツの推進を図るため、小中学校の屋内運動場やグラウンドを開放し、住民の体力の向上と地域の連帯性を高めるため、その管理運営を行う	146	158	12	学校の授業に支障のない範囲で、学校体育施設を有効に活用し、本町のスポーツ振興に効果をあげている。 H21年度後半より自主管理方式に移行し、各利用団体から3名以内の管理指導員を選出し、管理業務を行っている。これにより、管理経費の縮減と施設に対する利用者の自覚を高めることができた。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
51	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2360-00	鶴川体育館管理 運営事務	町民の心身の健全な 育成と健康の保持、増進 を図り、広く生活文化の 向上に寄与するために 設置されている鶴川町 民体育館の管理運営を 行う	10,207	5,152	△ 5,055	町民体育館利用調整会議(夏季・冬期)を開催し、使用者団体の調整を行い、公平・効率的な利用に努めている。(補完施設として、中央小学校、宮戸小学校、鶴川中学校及び報徳館の屋内運動場を指定) 施設の設置(昭和48年)…老朽化と使用頻度も高く、施設の耐久力も極まり、改修の検討も必要となる。 H24耐震度調査実施	A拡大	
52	総合支所 教育振興課	2370-02	穂別スポーツセン ター管理運営事 務	町民の心身の健全な 育成と健康の保持、増進 を図り、広く生活文化の 向上に寄与するために 設置されている穂別ス ポーツセンターの管理運 営	11,787	12,178	391	穂別地区の体育振興の中心施設として、各種スポーツ大会も多数利用されており、地域住民の交流の場ともなっている。学校数の減少により学校開放の可能な体育施設が少なくなっており、施設の重要度は増している。開設(昭和54年)から築30年以上を経過しており、経年による劣化や損傷も散見され、長寿命化を図るために全般的な点検を行い改修の検討を行う必要がある。	A拡大	
53	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2380-00	田浦野球場管理 運営事務	町民の心身の健全なる 育成と健康の保持増進 を図り、スポーツ文化の 向上に寄与するために 設置されている田浦野 球場・田浦第2野球場の 管理運営を行う	3,870	2,627	△ 1,243	鶴川高校野球部をはじめ町内外の野球愛好団体等に広く活用されている。 今後も施設の適切な維持管理に努めていく必要がある。	B維持	
54	総合支所 教育振興課	2390-00	穂別野球場管理 運営事務	町民の心身の健全なる 育成と健康の保持増進 を図り、スポーツ文化の 向上に寄与するために 設置されている穂別野 球場の管理運営	211	205	△ 6	野球チームが少なく利用者も減少傾向だが、野球少年団、中学校野球部、社会人チーム等が利用しており、不定期ではあるが野球大会にも利用されている。穂別地区における唯一の野球場として今後も施設の維持運営を継続していく必要がある。また、冬季は歩くスキーコースの練習場としても活用されている。	B維持	
55	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2400-00	ゲートボール場管 理運営事務	町民の心身の健全なる 育成と健康の保持増進 及び軽スポーツ交流を 通して町民のふれあい の場として設置されて いるゲートボール場の 管理運営を行う	4,647	4,091	△ 556	ゲートボール愛好団や高齢者大学などのほか小中学生にも有効に活用されている。 今後も、適切な維持管理を行っていく必要がある。	B維持	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
56	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2410-00	鶴川スケートセンター管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持及び体育・スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された鶴川スケートセンターの管理運営	5,146	5,723	577	冬のスポーツ施設として少年団活動や学校体育授業等に有効に活用されるとともに、夏季には、インラインスケートの使用を可能とした施設であり、日本代表として国際大会に出場する選手などの強化練習施設としても活用されている。	B維持	
57	総合支所 教育振興課	2420-00	穂別スケートリンク管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持及び体育・スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された穂別スケートリンクの管理運営	2,144	2,295	151	小学校体育授業が1校のみとなり少年団活動も休止状況のため利用者は減少している。現在は主に冬期間の子どもたちの運動の場、放課後・休日の遊び場として利用されている。平成24年度もスケート協会が主催でスケート教室・町民スケートまつりを開催し氷上レクリエーションなど取り組んでいる。	C見直	代替施設等の検討
58	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2430-00	鶴川地区パークゴルフ場管理運営事務	町民及び来町者の心身の健全な発達及び体育、スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された鶴川運動公園パークゴルフ場及びししやもパークゴルフ場の管理運営を行う	5,887	4,283	△ 1,604	中高齢者のスポーツとして定着し、利用率も高い。芝生の管理等適切に行いながら利用者の要望に対応する必要がある。	B維持	
59	総合支所 教育振興課	2440-00	穂別地区パークゴルフ場管理運営事務	町民及び来町者の心身の健全な発達及び体育、スポーツ活動の普及・振興を図るために設置された穂別地区パークゴルフ場の管理運営	6,099	6,343	244	高齢者の健康維持と会社や自治会等団体の親睦交流スポーツに多く利用されている。最近、若年層・町外者の利用が少なく利用者減少傾向にある。	B維持	
60	総合支所 教育振興課	2450-00	スキー場管理運営事務	町民の冬季スポーツの振興及び保健体育の普及向上を図るために設置されている穂別スキー場の管理運営	1,386	2,814	1,428	小学生では少年団活動が多く利用し、中・高生ではスノーボード利用が多い。成人層は減少傾向。天候などにより利用の増減はあるが、町内唯一のスキー場として維持する。近年では施設の老朽化が目立つことから、今後計画的な修繕を必要とする。	A拡大	

平成25年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
61	総合支所 教育振興課	2460-00	水泳プール管理 運営事務	町民の健康増進と体位の向上を図るために設置された穂別水泳プールの管理運営	3,098	3,989	891	穂別地区の唯一の水泳施設である。一般利用のほか、小中学校体育授業、放課後児童の遊び場等に利用されている。夏期のみでの開設であるものの、町民の需要はきわめて高い。屋根シートの劣化や機械設備の定期的な点検等を行いながら今後も大切に施設を維持していくことが求められる。	A拡大	
62	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2475-00	鶴川テニスコート 管理運営事務	町民の心身の健全な発達と体育・スポーツ活動の普及、振興を図るために設置されている鶴川テニスコートの管理運営	84	112	28	鶴川中学校改築に伴い、同校敷地内へ移設を行った。テニス団体や愛好者において有効に活用されている。今後も適切な維持管理を行っていく必要がある。	B維持	
63	総合支所 教育振興課	2480-00	穂別テニスコート 管理運営事務	町民の心身の健全な発達と体育・スポーツ活動の普及、振興を図るために設置されている穂別テニスコートの管理運営	602	650	48	テニス愛好者の減少により利用者が少ない。小規模の修繕を行いながら継続運営している。なお、冬期間は「雪合戦」の練習及び体協主催の町民雪合戦大会の会場として利用され冬季の有効的活用が図られている。穂別地区の冬場の新たなスポーツとして「雪合戦」は注目されており、毎年国際大会にも参加している。	B維持	
64	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2485-00	体育施設耐震化 整備事業	大規模な地震に備え、大規模構造物である鶴川町民体育館及び穂別スポーツセンターの耐震診断を行い必要な措置を図る。	0	264,183	264,183	平成24年度実施した耐震診断により、耐震改修工事が必要となったため、鶴川町民体育館・穂別スポーツセンター両施設の耐震改修実施設計及び耐震改修工事を行った。	E終了	